

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【公表番号】特表 2009-541750 (P2009-541750A)

【公表日】平成 21 年 11 月 26 日 (2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報 2009-047

【出願番号】特願 2009-516882 (P2009-516882)

【国際特許分類】

G 0 1 M 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 M 11/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 16 日 (2011.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光導体 ( 1 0 ) と検出装置 ( 2 5 ) とを備える構成体であって、  
 ・前記光導体 ( 1 0 ) はコア領域 ( 1 0 E ) と、該コア領域 ( 1 0 E ) を包囲するカバ  
 ー領域 ( 1 0 C ) とを含み、  
 前記コア領域は、前記カバー領域よりも大きな屈折率を有し、  
 ・前記検出装置 ( 2 5 ) は、前記光導体 ( 1 0 ) の損傷を検出することができ、  
 ・前記光導体 ( 1 0 ) は第 1 の端部 ( 1 0 A ) と第 2 の端部 ( 1 0 B ) を有し、  
前記第 2 の端部 ( 1 0 B ) には変換物質 ( 1 5 ) が設けられており、  
該変換物質は、前記光導体 ( 1 0 ) を通って搬送された第 1 波長のビーム ( 1 1 ) を、  
第 2 波長の光 ( 2 0 ) に変換し、  
前記第 1 の端部 ( 1 0 A ) には第 1 の検知器が前記検出装置の構成部分として設けられ  
ており、該第 1 の検知器は前記第 2 波長の光を検出する構成体。

【請求項 2】

請求項 1 記載の構成体であって、  
 ・第 1 の導電接続部 ( 2 5 A ) が前記検出装置の構成部分として設けられており、前記第  
 1 の導電接続部は前記カバー領域 ( 1 0 C ) 内に、または当該カバー領域上に延在し、  
 前記第 1 の導電接続部の機能性は、光導体の機能性を指示する構成体。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の構成体であって、  
 ・前記光導体 ( 1 0 ) は主軸を有し、  
 ・前記第 1 の導電接続部 ( 2 5 A ) は、前記光導体 ( 1 0 ) の主軸に沿って延在する構成  
 体。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 記載の構成体であって、  
 ・前記第 1 の導電接続部 ( 2 5 A ) は、前記コア領域 ( 1 0 E ) よりも脆性である構成体  
 。

【請求項 5】

請求項 2 から 4 までのいずれか一項記載の構成体であって、  
 ・付加的に第 2 の導電接続部 ( 2 5 B ) が設けられており、該第 2 の導電接続部は前記光

導体（１０）内に、または光導体上に延在する構成体。

【請求項６】

請求項１から５までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記第２の導電接続部（２５Ｂ）は前記第１の導電接続部（２５Ａ）と共に電流回路を形成し、
- ・前記第１の導電接続部の機能性を検査するための手段（２５Ｃ）が設けられており、該手段は電流回路を流れる電流を検出することができる構成体。

【請求項７】

請求項５記載の構成体であって、

- ・前記第２の導電接続部（２５Ｂ）は、前記第１の導電接続部（２５Ａ）に対して間隔をおいて延在し、
- ・前記第１の導電接続部の機能性を検査するための手段（２５Ｃ）が設けられており、該手段は第１の導電接続部と第２の導電接続部との間に印加される電圧を検出することができる構成体。

【請求項８】

請求項１から７までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記第２の端部（１０Ｂ）には、前記変換物質（１５）と前記光導体（１０）との間で反射層が取り付けられており、  
該反射層は、第１波長のビーム（１１）に対しては透明であり、第２波長の光（２０）の一部を反射する構成体。

【請求項９】

発光装置（１）として構成された、請求項１から８までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・付加的にビーム源（５）が前記光導体（１０）の第１の端部（１０Ａ）に設けられており、前記ビーム源は第１波長のビーム（１１）を放射する構成体。

【請求項１０】

請求項１から９までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記ビーム源は短波長ビーム源を含む構成体。

【請求項１１】

請求項１から１０までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記光導体（１０）はファイバを含み、該ファイバはガラスおよびプラスチックから選択される物質を含有する構成体。

【請求項１２】

請求項１から１１までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記光導体（１０）の第１の端部（１０Ａ）には、第１波長のビーム（１１）を放射するビーム源が設けられており、  
第２の端部（１０Ｂ）には光学構成部材（３０）が設けられており、  
該光学構成部材は、変換された光（２０）と、または光導体から出射したビーム（１１）と交互作用する構成体。

【請求項１３】

請求項１から１２までのいずれか一項記載の構成体であって、

- ・前記光導体（１０）の端部（１０Ｂ）は透明体（３５）と導光的に結合されている構成体。